

## 神奈川県内の労働災害発生状況（12月末時点）

	令和元年	令和2年
全業種	6302	6528
製造業	965	862
食料品製造業	298	322

単位：件

神奈川県内における労働災害（休業4日以上）は、令和2年12月末時点で、6528件発生しており、前年同期6302件から226件増加。陸上貨物運送業、保健衛生業、商業（小売業等）が増加傾向にある。

製造業全体の労働災害発生件数は前年同期よりも減少している一方で、食料品製造業では、前年同期298件より24件増加し、322件発生。

## 食料品製造業における平塚署管内の状況

### （1）労働災害発生件数（12月末時点）

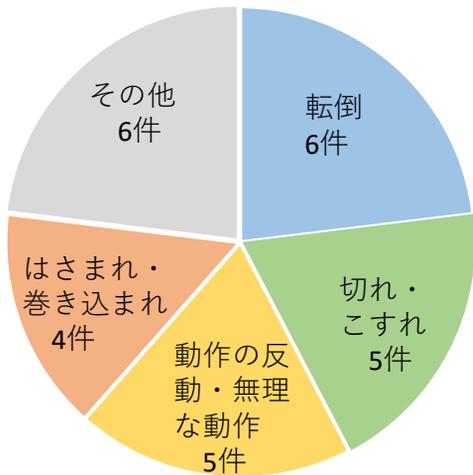
	令和元年	令和2年
全業種	431	418
製造業	102	81
食料品製造業	26	26

単位：件

平塚署管内における労働災害（休業4日以上）は、令和2年12月末時点で、418件発生しており、前年同期431件から13件減少。

製造業全体の労働災害発生件数も前年同期よりも減少している一方で、食料品製造業では、前年同期と同じ26件発生。

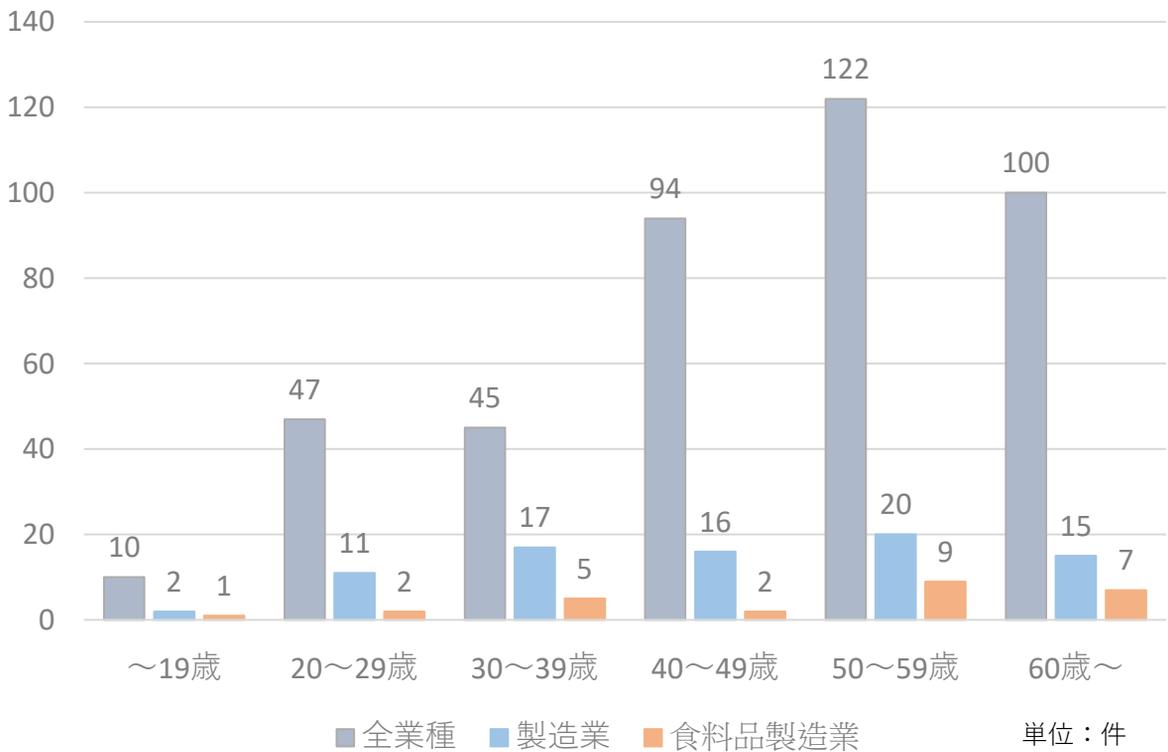
## (2) 事故の型 (令和2年12月末時点)



事故の型別に見ると、転倒、はさまれ・巻き込まれ、動作の反動・無理な動作（腰痛含む）、切れ・こすれの順に多く発生している。

また、他の製造業種と比べると、包丁やスライサー（食品加工機械）等の刃物等による切れ・こすれの発生が多い特徴がある。

## (3) 被災者の年齢 (令和2年12月末時点)



被災者の年齢別に見ると、**高齢者の被災が多く**、全業種では、休業4日以上の労働災害の**50%以上（418件中222件）**が、**50歳以上の労働者が被災したものである**。食料品製造業においても同様の傾向が見られ、**60%以上（26件中16件）**が**50歳以上の労働者の被災によるものである**。特に**50歳以上の労働者は転倒災害による被災が多く**、食料品製造業では、転倒災害6件中4件が、**50歳以上の労働者が被災したものである**。